

事務事業評価シート

事業番号 No. 23	事務事業名 老人クラブ運営費補助金	所管部課 高齢者支援課
----------------	----------------------	----------------

基礎情報	事業開始時期【1】	合併前	実施形態【2】	☐ 直営 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ その他 ()			
	根拠法令等【3】	老人クラブ等運営費補助金交付要綱					
	総合計画【4】	基本目標	3 笑顔で自分らしく暮らせるまち	基本施策	8 いつまでも健康で元気に暮らすために	施策	8-2 高齢者の社会活動や生きがいがいづくりの充実
	個別計画【5】	計画	西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第9期)	施策等①	生きがいがいづくりの支援	施策等②	

事務事業の概要	事務事業の目的と目指す成果【6】	社会奉仕活動や生きがいを高め健康づくりを進める活動等の社会参加活動を通じ、自らの生きがいや健康保持等、地域高齢者福祉の増進を図る。
	事務事業の内容・実施方法等／補助の概要【7】	【補助の概要】 ■支払方法:概算払(年2回前期・後期支払い(6月、10月)) ■上乗せ補助:あり ■横出し補助:なし ■国・都補助の有無:あり((都)高齢者施策推進区市町村包括補助事業、老人クラブ区市町村支援事業補助金) ■補助対象:老人クラブ(60歳以上の市民おおむね30人以上で構成される団体) ■補助額:①と②の合計額 ①市民の会員数の区分に応じた月額×活動見込月数(おおむね30人以上49人以下月額19,000円、50人以上69人以下月額24,000円、70人以上89人以下月額29,000円、90人以上109人以下月額34,000円、110人以上月額39,000円) ②老人クラブに所属する市民の会員数×100円×活動見込み月数 ■補助対象事業:社会奉仕活動、健康を進める活動、生きがいを高める活動、その他の社会活動 ■補助対象経費:報償費、旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料等(交際費、食糧費等を除く)

事業費データ	項 目	令和5年度(決算額)	令和6年度(決算額)	令和7年度(決算見込額)	令和8年度(予算額)	単位
	事業費計【8】	9,876	8,532	7,757	8,831	千円
	財源	5,068	4,908	4,342	4,342	
	内 国庫支出金・都支出金					
	内 国庫支出金・都支出金		0			
	内 一般財源	4,808	3,624	3,415	4,489	
	人件費計【9】	4,695	5,205	5,205	5,205	
内 正規職員	0.70 人 4,695 千円	0.70 人 5,205 千円	0.70 人 5,205 千円	0.70 人 5,205 千円		
内 会計年度任用職員	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円		
総コスト	14,571	13,737	12,962	14,036		

活動実績【10】	項 目	令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度		令和 8 年度		単位
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	
	①補助金の交付件数	-	27	-	26	-	23	23	-	件
	②老人クラブ人数	-	1,260	-	1,249	-	1,147	1,150	-	人

成果指標【11】	項 目	令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度		令和 8 年度		単位
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	
	1クラブ当たりの活動回数	-	430	-	377	-	329	350	-	回
	①【成果指標の説明】	1クラブ当たりの活動回数の増加により、高齢者の社会参加及び生きがいがいづくりを推進する。※社会奉仕活動(登下校時の見守り、清掃美化活動、施設訪問等)、健康を進める活動(健康体操、ベタンク、輪投げ、ポッチャ等)、生きがいを高める活動(手芸、学習会、カラオケ、コーラス等)、その他の社会活動 等								
	1クラブ当たりの活動参加延べ人数	-	2,195	-	1,776	-	1,962	2,000	-	人
	②【成果指標の説明】	1クラブ当たりの活動参加人数の増加により、会員の生きがいがいづくりや健康の維持増進に繋がる。								

事業環境等	事業実施における課題点と改善に向けての取組【12】	会員の減少により廃止団体が増加しているため、会員数増加に向けた幅広い普及啓発を行った。また、会員数減少に歯止めをかけるため会計事務を簡素化し、引き続き実績報告書の書き方についての説明会を行うとともに、帳簿の記載方法に関する相談を随時受け付け、会計担当者の負担を軽減を図った。
	他団体の実施状況【13】	多摩26市中、全自治体が補助金交付を実施。うち、会員数によらず固定額で補助している自治体は2市、会員数の区分に応じて補助額が異なる自治体は4市、会員数に補助単価を乗じて基準額を加えて補助している自治体は20市である。
	代替・類似サービスの有無【14】	☐ 有 ☒ 無 老人クラブは会員制で60歳以上が対象、社会奉仕活動、健康を進める活動、生きがいを高める活動、その他の社会活動(定例会や総会など)全てを網羅して実施することが条件であるのに対し、いこいーなサロンは全年代を対象とし、会員制ではなく地域の方が気軽に通える場であることが異なる。

【検証項目】

検証項目 【15】			一次評価	二次評価	本部評価	
	必要性	事業の実施が国・都の法令等で定められている	非該当	非該当		
		市が主体となって実施しない場合、市域内における当該サービスの提供が不十分になる恐れがある	該当	該当		
		現下の社会経済情勢に見合った事業である	該当	該当		
	有効性	成果指標の達成状況はどうか	1	1	0	/9
		上位施策等の目的の達成に向けて事業の対象は適切か	3	3		
		上位施策等の目的の達成に向けて事業の内容・実施方法は適切か	3	3		
	効率性・経済性	業務プロセスに改善の余地はないか	2	2	0	/9
		投入したコストが活動実績に見合っているか	2	2		
		国・都の補助金や受益者負担など、一般財源以外の財源確保がされているか	3	3		

【一次評価・二次評価】

一次評価 【16】	必要性	「西東京市高齢者保健福祉計画」の施策として「生きがいづくりの支援」を位置付けており、高齢者の社会参加と生きがいづくりを支援するため、老人クラブの活動費の一部を補助する必要性がある。	二次評価 【17】	必要性	高齢者の社会参加や生きがいづくり、健康づくりに資する取組であり、その必要性は一定程度認めるものの、新規入会者が出てこない現状や会員数の減少など、各団体においても課題認識を持ち、団体のあり方について見直し等が必要である。
	有効性	会員の高齢化によりクラブ数、会員数ともに減少しており、当市のクラブ加入率は多摩26市と比較して低水準である。また、外出が容易でない会員もいるため、活動数も減少傾向にある。補助内容については、多摩26市ほとんどの自治体で上乗せ補助を実施していることから、引き続き同水準で補助することが適切である。		有効性	会員同士のコミュニケーション等が図れ、社会参加、生きがいづくりにつながると考えるが、常態化している各団体の姿勢が本来の目的等に合致しているのかなど、検証が必要である。
	効率性・経済性	補助金交付のため会員の居住確認や他クラブとの重複加入等を確認する業務に時間がかかっているため、改善を図りたい。 ほとんどのクラブが補助金を有効活用し活動を実施しているが、補助金を使いきれずに返還金が生じる団体も少数だがあるため、コストの見直しを図る余地はある。		効率性・経済性	登録会員の確認等、職員の負担が大きいいため、申請方法など一定のルールの見直し等が必要である。団体の大小、活動状況等により、各団体が受け取る補助金額に差が生じていると考える。

【外部評価】

評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等【18】	

【行革本部評価】

9 有効性 改善・見直し (効率性・経済性) 現状維持 効率性・経済性 3 抜本的見直し 改善・見直し (有効性) 3 必要性	コストの方向性		評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
	総合評価		

改善の方向性と今後のスケジュール【19】	
----------------------	--